

令和5年12月21日
(2023年)

保護者のみなさま

吹田市立豊津第一小学校
校長 有明志郎

令和5年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「令和4年度全国学力・学習状況調査」を実施し、8月末に個人ごとの結果をお返ししました。また今回実施した調査結果等は吹田市ホームページに公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語・算数・理科に限られております。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果を、今後の参考にしていただきますようお願いいたします。

Ⅰ 教科に関する調査の分析

(1) 国語《概要》

全国値を上回り、良好な結果でした。

● 国語《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

知識及び技能

言葉の特徴や使い方に関する事項

- ・「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと」は、**全国値を上回っている**。
- ・「送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができる」は、**全国値をやや上回っている**。
- ・「文章の種類とその特徴について理解している」は、**全国値をやや上回っている**。
- ・「日常よく使われる敬語を理解している」は、**全国値を上回っている**。

情報の扱い方に関する事項

- ・「原因と結果など情報と情報との関係について理解している」は、**全国値をやや上回っている**。
- ・「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる」は、**全国値を上回っている**。

思考力、判断力、表現力等

話すこと・聞くこと

- ・「必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができる」は、**全国値をやや上回っている**。
- ・「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること」は、**全国値をやや上回っている**。

書くこと

- ・「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる」は、**全国値を上回っている。**

読むこと

- ・「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること」は、全国値をやや上回っている。
- ・「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること」は、**全国値を上回っている。**
- ・「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる」は、**全国値をやや下回っている。**

●国語科における成果と今後の改善点について

ほぼ全国値を上回り、良好な結果でした。

今回の全国学力・学習状況調査の問題形式は、選択式、短答式、記述式の3種類が出題されていました。

特に「書くこと」においては、全国と比べ正答率が大きく上回った。自分の考えが伝わるように文章を書くためには、図・表やグラフなどを用いるなどして書き表し方を工夫することができていた。

一方で、「情報の扱い方に関する事項」の“原因と結果など情報と情報との関係について理解すること”の問題においては、正答率が低く、結果に対して何が原因であるという関係を結び付けて捉えることができていないと考えられる。

文章内の情報をまとめるということは、主題や要点を把握し、冗長な部分を省いて要約する力が必要です。重要な情報を取捨選択し、簡潔かつ明確に伝えることができています。物語教材では、登場人物の気持ちの変容を読み取る時間を確保し、一人ひとりが考えを持つことができるように授業を行っています。練習を重ね、要約の際に文脈を理解することで、上手にまとめる力を伸ばせる取り組みを進めていきます。

(2) 算数《概要》

全国値を上回り、良好な結果でした。

●算数《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

知識及び技能

数と計算

- ・「一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすること」は、全国値をやや上回っていた。
- ・「加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いること」は、全国値を上回っていた。

図形

- ・「台形の意味や性質について理解すること」は、全国値を上回っていた。
- ・「正方形の意味や性質について理解すること」は、全国値をやや上回っていた。
- ・「正三角形の意味や性質について理解すること」は、全国値を上回っていた。

変化と関係

- ・「伴って変わる二つの数量について、変化の特徴を読み取り知りたい数を求めること」は、全国値をやや下回っていた。
- ・「百分率で表された割合について理解すること」は、全国値を上回っていた。

データの活用

- ・「二次元の表から条件に合う数を読み取ること」は、全国値を上回っていた。

思考力、判断力、表現等

数と計算

- ・「()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ること」は、全国値を上回っていた。
- ・「小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること」は、全国値を上回っていた。
- ・「2位数÷1位数の筆算について図を基に商の意味を考えること」では、全国値を上回っていた。

図形

- ・「底辺と高さの関係に着目して三角形の面積の求め方を言葉や数を用いて記述すること」は、全国値を上回っていた。

変化と関係

- ・「伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係にないことを説明すること」は、全国値をやや上回っていた。
- ・「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを、求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること」は、全国値をやや上回っていた。

データの活用

- ・「棒グラフの特徴とその用い方を理解し、見いだした違いを言葉と数を用いて記述すること」は、全国値とほぼ同じだった。

●算数科における成果と今後の改善点について

ほぼ全国値を上回り良好な結果でした。また、半数以上の設問で全国値を大きく上回っていました。今回の全国学力・学習状況調査の問題の形式は、算数科の学習において大切とされる「言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて、筋道を立てて説明したり論理的に考えたりして、自ら納得したり他者を説得したりすること」に関わる、【「事実」を記述する問題】、【「方法」を記述する問題】、【「理由」を記述する問題】の3種類が出題されていました。これらに対し、本校は、【「方法」を記述する問題】、【「理由」を記述する問題】については全国値を大きく上回っていましたが、【「事実」を記述する問題】は、全国値を下回っていました。このことから、問題文から見いだした事実を、確認したり説明したりすることにやや課題があるということがわかりました。そのため、改善点としてデータの分析に関わる数学的な活動を通して知識及び技能を身に着けること。そして、学んだ知識及び技能を用いて、判断し表現する機会を今まで以上に取り入れた授業を進めていきます。

(3) 理科《概要》

本年度は学力状況調査の対象ではなく、大阪府独自のすくすくウォッチについての分析となっております。

大阪府値をやや上回り、良好な結果でした。

●理科《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

知識及び技能

「エネルギー」・「粒子」を柱とする領域

- ・「直列つなぎと並列つなぎにおける電球の明るさのちがいは、大阪府値を上回っている。
- ・「とじこめられた空気は、おされることで体積が変化すること」は、大阪府値をやや上回っている。
- ・「とじこめられた空気の性質を利用した身の回りのものの例」は、大阪府値を上回っている。
- ・「ソーラークッカーの原理から、より早くあたためる工夫を考える」は、大阪府値を上回っている。

「生命」を柱とする領域

- ・「観察記録から、気温とサクラの開花の関係を捉える」は、大阪府値を上回っている。
- ・「季節による植物の成長を理解し、違いを読み取る」は、大阪府値を上回っている。
- ・「子葉について理解する」は、大阪府値を下回っている。
- ・「昆虫の体のつくりについて理解する」は、大阪府値を上回っている。
- ・「虫めがねの正しい使い方を理解する」は、大阪府値を下回っている。

「地球」を柱とする領域

- ・「方位磁針の正しい使い方を理解する」は、大阪府値を上回っている。
- ・「月の観察記録に必要な内容を理解する」は、大阪府値を上回っている。
- ・「月の形の名称について理解する」は、大阪府値を上回っている。
- ・「月の動きを観察カードから考察する」は、大阪府値とほぼ同じである。
- ・「雨が降り出すときの雲の様子について理解する」は、大阪府値とほぼ同じである。
- ・「気象情報から、今後の天気の変化について考察する」は、大阪府値をやや上回っている。

●理科における成果と今後の改善点について

全体としては、ほぼ大阪府値を上回る良好な結果でした。

大阪府全体では、電池のつなぎ方に関する用語とその特徴を正しく理解することや観察器具の使い方に関する知識に課題があると分析がされていますが、本校でも同様の傾向がみられました。

観察カードなどの観察記録から情報を読み取り、関連付けながら回答を導き出す出題に関しては、大阪府値を上回っています。

これは、本校がタブレット端末を利用し、インターネット上の多様な記録情報に触れたり、ミライシードを利用し観察結果などを互いに閲覧しあったりするような活動を行っていることが関係していると思われます。今後も、多様な情報源から必要な情報を読み取り、科学的な視点に立ち検討・解釈し、様々な自然の物事・現象について多面的に理解できることを目指し、取り組みを進めていきます。

2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

全国値を上回り、良好な結果でした。

- ・「国語・算数・英語の勉強は好きですか」、「国語・算数・英語の勉強は大切だと思いますか」の肯定的回答がすべて全国値を上回っている。
- ・「国語・算数の授業内容はよくわかりますか」の肯定的回答は全国値を上回っている。
- ・「5年生までに受けた授業では、問題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいました

- か」「5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」の肯定的回答が全国値を大きく上回っている。
- ・「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」で「ほぼ毎日や週3回以上」の回答は全国値を上回っている。
 - ・「自分には、よいところがあると思いますか」、「将来の夢や目標を持っていますか」の肯定的回答が全国値を上回っている。
 - ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の肯定的回答が全国値を上回っている。
 - ・「学校の授業時間以外に、月曜日から金曜日、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（塾や家庭教師、インターネットの活用も含む）」で「3時間以上や2時間以上3時間より少ない」の回答は全国値を大きく上回っている。
 - ・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の肯定的回答は全国値を下回っている。
 - ・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の肯定的回答は全国値を下回っている。
 - ・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の肯定的回答は全国値を上回っている。
 - ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思いますか」の肯定的回答は全国値を上回っている。

3 今後の取り組み

生活習慣や学習環境等の結果からは、「自分には、よいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「先生は、よいところを認めてくれている」というで、自己肯定感が育っていると思います。また、「地域の行事に参加している」「地域や社会をよくするために何かをしてみたい」と自分から地域社会に関わろうとする姿勢はコロナ禍も過ぎて人の役に立ちたい、地域の人ともふれあいたい思いがでてきたことは良いことだと思います。今後も自己肯定感を育むことができるように取り組んでまいります。国語や算数は好きで授業などもよくわかっていて、話し合ったり考えたりすることは好きという回答から本校で取り組んでいる授業スタイルがよい結果にあらわれました。

学校生活課題としては、「自分で計画を立てて勉強をする」「自分で課題を立てて情報を集め整理して調べて発表する」など自分で計画や課題を立てることがみられました。今後、学習においては今まで以上に授業の最初に学習計画を立てて取り組み学習したり、自学学習も活用して自分の得意なことから調べたものを本校の自学学習掲示板で披露したりして学習していくことに取り組んでいきます。

4 校長より

令和3年にわたしが本校に赴任した時の調査結果を見て、大変ショックを受けました。「将来の夢や目標がありますか？」という設問の回答が全国平均、大阪府平均を下回るものだったことです。

学校で一番大事なことは、子どもたちに「自分には素晴らしい未来があるんだ」「無限の可能性があるんだ」「自分の力は今は完璧じゃなくても、いつか好きなことに熱中した時に思いっきり発揮できるんだ」という気持ちを持たせる「学びの場」であることです。学校は子どもたちの前向きな生きる力を育む

場所です。

昨年度は数値は少し上がりました。コロナの影響があったことは否めませんでした。しかし、今年は晴れて、相当良い数値でした。また、「自分にはよいところがある」「先生はあなたのよいところを認めてくれている」がどちらも昨年度までを上回りました。これは豊津第一小学校の教育が間違っていなかったという証です。

さらに「いじめはどんな理由があってもいけない」に、97%以上の児童が「絶対アカンと思う」と明言しています。これも、本校のいじめ防止対応の取組が少しずつ浸透してくれていると、うれしく思います。

本校はこの5年間、子どもたちが授業の中で自分の考えを深める。自分の意見や思いを発表で出来る。それをみんなで交流して学びを深めていく。という授業を進めてきました。「国語、算数、理科、英語などの各教科が好き」という回答も昨年度を上回りました。その成果も出てうれしいです。子どもの持つ力を伸ばす授業が出来て来たんだと思います。

基本ですが、「学校に行くのが楽しい」が昨年度までや、全国平均等を大きく上回っています。これは先生方の日々の努力と、保護者の皆さんの応援、地域の皆さんの見守る目があるおかげだと、改めて確信しました。

これからも、これらの結果に慢心することなく、本当の学力を付けていくことを学校の全教職員で進めてまいります。これからもご理解ご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。